

美食のまちづくりによる 地域経済の好循環に向けて

民間事業者等が連携し、小田原の豊かな食材や人材の付加価値を高めることで「美食のまち」のイメージを市内外に定着させ、「食」を活用した事業を展開し、事業者の誘致や連携の促進及び観光客の増加等の効果を図り、地域経済の活性化につなげます。

「美食のまち」の定義

世界が憧れる小田原の食文化～ヒト・モノ・コト～があるまち

取組 1

「美食のまち 市民サポーター」の設立

「美食のまち」の定義に賛同いただける方を広く募集し、「(仮称)小田原市民が選ぶおすすめ食事処」のような市民目線で小田原の食を発信できる取組を実施します。

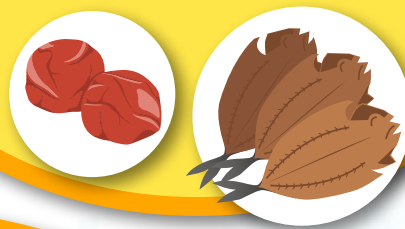


令和5年度の 主な取組

取組 2

「日本一の朝食 ～小田原自慢の幸～」づくり

蒲鉾や梅干し、獲れたての海産物、かながわブランド米小田原産「はるみ」等の『小田原自慢の幸』を用いた朝食を開発します。



取組 3

農水産物の高付加価値化

農産物を使ったスイーツや未利用魚を使ったレシピ考案など、農水産物の高付加価値化に向けた新商品等を開発します。また、小田原の食の取組を広く周知するほか、食にまつわる体験イベント等を開催します。

